

向日町競輪場敷地の再整備に係る住民説明会 の開催結果概要

1 開催日時

令和8年 1月16日(金) 19時00分～20時40分 (永守重信市民会館ホール)

1月18日(日) 13時30分～15時10分 (永守重信市民会館ホール)

1月18日(日) 18時00分～20時50分 (永守重信市民会館ホール)

2 参加者数

計462名

お住まい：向日市78% 京都府(向日市外)21% 京都府外1%

3 質疑回答

別紙①のとおり

4 当日アンケート

回収数：297名

年齢：20代以下1% 30代7% 40代10%

50代21% 60代27% 70代以上33% 無回答1%

自由記述：別紙②のとおり

※ 本説明会の「質疑回答」及び「当日アンケート(自由記述)」において、ご参加の皆様からいただいたご意見などで類似のものや、重複したものは、まとめて掲載しています。

| 主なご意見・ご質問 | 京都府及び事業者の考え方 |
|--|---|
| <p>1年ほど前にアリーナの新聞記事が掲載され、地域住民からは生活環境の悪化の懸念が根強く、府は事業者とともに不安解消を図る姿勢が欠かせない、経済や娯楽のために地域がしわ寄せを受けるのは本末転倒、調和の取れたまちづくりを調べてほしいとあったが、この記事をどのように理解しているか。</p> | <p>【京都府】 住民への説明については、構想段階から、これまで計14回にわたり説明会を開催する中で、延べ1,188名の方にご参加いただいた。また、現地事務所を開設し、騒音振動計の設置や住民団体の方との懇談など要望に応じて対応するとともに、近隣住民にはご自宅を訪ね、現地事務所や説明会の案内をするなど、京都府が事業者と一体になって、できる限りの努力を進めてきたところ。アリーナを単なる施設整備ではなく、まちづくりとして取り組みたいと考えており、ジョギングや散歩ができる遊歩道、ボール遊びができる多目的広場、遊具広場なども設け、閉鎖的な空間から日常的に入っていた空間に変えて、周辺環境と調和を図っていきたい。また、災害時に避難所として機能できるようにも考えている。</p> |
| <p>これまでの市民からの意見や要望についてどのように検討したのか。</p> | <p>【京都府】 これまで、向日市に協力いただき、LINEアンケートや市民の声を取りまとめた要望書など、様々な形で声を吸い上げていただいた。要望の大きな柱としては、市民が自由に集い憩うことができる施設、環境に配慮した施設、市民の安心安全の確保、市内の産業振興と地域活性化を挙げていただいている。具体的な住民のご意見としては、ボール遊びのできる広場、BMXなどのアーバンスポーツができる場所、市民が憩える緑地、農工商振興や観光振興に繋がる地産地消の推進、敷地外周道路の安全な歩行空間の確保、都市計画道路御陵山崎線の整備といった声をいただいていた。本日の説明会の段階で、計画に反映してきたものを説明させていただいたところであり、引き続き、ハード・ソフト両面から必要な検討をしていきたい。</p> |
| <p>西国街道へ入る横断歩道は幅が狭く、向日町停車場線もアリーナ開業までの歩道拡幅は困難な中、時間やルート分散で1万人近くの来場者をさばけるのか。</p> | <p>【京都府】 交通については、交通の専門業者を通じて、現状の交通量や交差点の数、信号の時間、横断歩道の長さ、歩道の幅員等を計測し、現状の道路状況での分析を続けているところ。基本的にはルートと時間を分けて退場することで現状の歩道でも人が流れる想定をしており、今回のルート候補としている。この案を軸に、狭隘箇所の改善や御陵山崎線を立体的に横断できる施設も含め、具体的に人の流れをより円滑化させて、歩行空間の安全性の向上も図る取組みを検討しているところであり、道路整備の進捗状況なども加味して、さらに検討を深める必要のある段階だと考えている。検討結果や整備の進捗、道路管理者との調整、退場規制の程度などを踏まえ、引き続きアリーナ事業者とも連携しながらハード・ソフト両面で検討を深め、さらにお示しできる段階になれば丁寧にお伝えしていきたい。</p> |
| <p>来場者ルートに関してシミュレーションをして具体的な数字を出してほしいがどうか。公共交通機関での来場を促しても車で来ると思うが、どのように抑制するのか。</p> | <p>【京都府】 来場者ルートは、アリーナの来場者数を最大9,300席程度の座席数に合わせた人数を想定し、既存道路の歩行者容量も踏まえた検討を進め、今回3つのアクセスルートをお示しした。また、来場者の車での来場の抑止対策については、他の施設での取組み同様、アリーナの興行等に来られる方に対して駐車場はないので、公共交通機関でお越しくささいと周知を徹底するとともに、違法駐車等については警察とも協力して取り締まりや注意喚起を徹底していきたい。いずれにしても開業までに検討を続けることと、開業後も、適宜対応を見直しながら取り組んでいきたい。</p> |
| <p>御陵山崎線を立体的に横断できるという説明があったが、具体的に教えてほしい。</p> | <p>【京都府】 具体的には、競輪場だけでなく、アリーナも含めて、敷地の中に直接アクセスできる横断歩道橋のような構造を想定している。具体的な場所については、用地買収を伴う可能性もあり、現時点でまだ決まってないが、競輪場の東側への設置を検討していきたいと考えている。詳細が決まっていない段階であるが、一般の歩行者や住民の方も安全に横断していただける施設になるように今後検討していきたい。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>交通インフラが整っていれば9千人規模の来場者がいても40分ほどでピークが終わるが、この立地ではどうか。</p> | <p>【京都府】 競輪場に多くの方が来られていたことは鉄道事業者も承知されており、交通の専門業者が調べる中では鉄道の輸送能力が直ちに不足する状況にはないと考えている。 駅に至るまでの歩道について、狭隘箇所等は安全な空間が確保できるような整備箇所を検討し、取り組んでいきたい。</p> |
| <p>競輪場の前に消防署があり、前回の説明会でも救急車や消防車の緊急車両が渋滞に巻き込まれないか心配しているという意見があったが、どのように検討したか。</p> | <p>【京都府】 基本的には法律上において、消防車などの緊急車両が走行するときは、歩行者はこれに道を譲らなければならないと定められている。また、法律上の義務だけでなく、そうした状況下においては道を譲り、緊急車両などの走行に協力していく。</p> |
| <p>向日町停車場線については、過去競輪場に多くの人に来ていた時には車道まで人があふれ、渋滞が起こっていた。そんな中、向日町停車場線や西国街道に分散できるのか、不安に思っている。どの部分を拡幅するのか、具体的な説明をしてもらいたい。</p> | <p>【京都府】 向日町停車場線については、現状、近隣商業地域で建物が両側に張り付いており、全線の全面的な拡幅は時間や費用の面からも、短期的な整備は難しいと考えている。 その上で歩道の狭隘箇所の改善を検討しているが、用地をお譲りいただくことになるもので、現時点で具体的な場所を申し上げることは難しい。 この他、向日市のまちづくりとも連携しながら、また商工の関係者からは、道路を使ったにぎわいづくりの要望もいただいております、様々な可能性を考えていきたい。</p> |
| <p>向日町停車場線を工事車両が通ることは振動や騒音の問題があり、自転車の安全対策も必要。</p> | <p>【事業者】 向日町停車場線については、現在大型車両8トン以上の通行規制があると認識しており、積極的にこの路線を使うことは考えていない。</p> |
| <p>工事車両が競輪場の駐車場を通ることだが、中山向日線からの進入の対策は考えているか。</p> | <p>【事業者】 中山向日線から競輪場駐車場への進入口は大型車両が進入できるよう出入口の幅を広くして対応していく。 また、出入口には交通誘導員を配置し、歩行者や一般車両の安全確保に努める。</p> |
| <p>中山向日線について、東山交差点は通学路になっているが狭いので心配しており、ガードマンを配置するなど安全対策をしてもらえるのか。</p> | <p>【京都府】 東山交差点への影響について、基本的には直進で交差点を走行するため、交差点にかかる負荷は少ないと考えている。 その中で、当然通学路の安全については、今回の工事に関わらず京都府の事業では安全第一で取り組んでいるところであり、ご指摘の点を注意しながら走行してまいります。</p> |
| <p>工事車両の通行ルートのうち、中山向日線の北進はどこにつながっているのか。 福西東通を通るのであれば、大型車は通ってほしくないという意見が地域から出ている。</p> | <p>【京都府】 中山向日線を北進すれば、竹の里本通りが接続するところから北側で大型車両の通行規制がかかっており、その区間は避ける形で通行するルートが基本になると考えている。</p> |
| <p>東側ゲートからの車両が、御陵山崎線を右左折することは避けていただきたい。</p> | <p>【事業者】 東側ゲートから伏見向日線に直進で入退場する予定であり、御陵山崎線への右左折は想定していない。 ガードマンの配置や誘導により、一般の歩行者や車両に迷惑のかからないよう取り組んでいきたい。</p> |
| <p>伏見向日線の前田地下道西側のT字交差点は、信号が無く、現在でも車両が混雑しており、大型車両の通行をやめてもらいたい。 横断歩道もあり、自転車の交通ルールが変わっている中、子どもも通り、歩行者や自転車も非常に動きにくいところにトラックが通行すると非常に危険であるが、どうしていくのか。</p> | <p>【京都府】 乙訓土木事務所では、T字交差点から西側の阪急のガード下までは道路を拡幅し、歩道整備を行ったところ。 課題については承知しているが、短期間での抜本的整備は難しいと考えており、まずは現在事業中の御陵山崎線の整備を鋭意進めていきたい。</p> <p>【事業者】 工事車両について、施工上、東側ゲートの利用が必要な時期があり、伏見向日線の通行を予定している。 法令順守のもと一般の歩行者・車両の安全を確保し、慎重に利用していきたい。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>アリーナと競輪施設の工事について、作業員数と現場までの交通ルートを教えてほしい。</p> | <p>【京都府】 アリーナと競輪施設の工事時期は、ズレており、アリーナが3月の着工を目指すことに対し、競輪施設はこれから設計を実施する状況。競輪施設の工事計画は、設計決定後に決まってくるため、その状況も見ながら両者間で調整していきたい。</p> <p>【事業者】 アリーナ工事については、400名ほどの作業員を予定しており、半数ずつ電車や車で通勤する想定をしている。 なお、通勤車両については、競輪場第4駐車場Cに駐車する予定としている。</p> |
| <p>現在実施している解体工事等においてもダンプ等が多く安全の問題が起きている。 周辺の通学路にも配慮して工事車両の動線や渋滞対策を考えてほしい。</p> | <p>【京都府】 現在、競輪施設の解体工事と埋蔵文化財調査を行っており、工事車両については安全第一での走行を徹底していきたい。</p> <p>【事業者】 大型車両が通りやすいルートを選定し、可能な限り通学時間を避けた車両通行を計画するなど、できる限り努力していきたい。</p> |
| <p>大原野口交差点の改良工事の時期はいつになるか。</p> | <p>【京都府】 大原野口交差点の改良については、今年度から事業着手しており、現在、京都府で測量・設計を進めているところ。 工事については、道路管理者である京都市が実施する予定であり、今後、京都市と協議を行い、詳細を決定することとしており、着手時期についてはまだ決まっていない。 完成時期については不確定要素もあることから、この場で申し上げにくいですが、早期完成に向けて進めていきたい。</p> |
| <p>具体的な問題が出てきた時の窓口はどこなのか、はっきりさせてほしい。</p> | <p>【京都府】 昨年夏に競輪場敷地内に職員が常駐する現地事務所を開設しているので、本日の説明資料でご不明点等あれば、現地事務所に電話や訪問いただければ補足説明をさせていただきます。</p> |
| <p>御陵山崎線の寺戸事務所前は整備に時間がかかったと思うが、C工区の大まかなスケジュールを教えてください。</p> | <p>【京都府】 御陵山崎線のC工区はようやく今年度事業着手したところであり、現在、測量・設計を実施しているところ。 工事を始めるに当たっては、用地買収や関係機関との協議など、不確定要素もあるため、事業期間がいつまでとは申し上げられないが、この地域の道路の課題は承知しているので、早期完成に向けて頑張っ取り組んでいきたい。</p> |
| <p>御陵山崎線のC工区がアクセスルートに入っていないが、有効活用しないのか。</p> | <p>【京都府】 御陵山崎線については、アリーナが決定する前から進めているまちづくりの主軸となる道路である。 今年度事業化したC工区は延長が510mある長い工事区間になり、これから用地買収となるため、今回のアクセスルート案からは除かれている。 ただ、今回お示ししたものは現時点の案であり、今後道路整備の進捗状況により、適宜見直しを行っていく必要がある。 いずれにしてもアリーナ、まちづくりの両方の側面からしっかり道路整備をしていきたい。</p> |
| <p>南西市道は通学路になっており、拡幅すると多くの車両が通ることや車が離合する時に歩道に乗り上げるなどの恐れがあるが、安全性は守られるのか。</p> | <p>【京都府】 南西市道の拡幅については、向日市からの要望を受け、計画しているが、設計はこれからであるため、懸念点や課題を解消できるよう、歩車分離や歩行者の安全確保をしっかり検討していきたい。</p> |
| <p>競輪場とアリーナでイベントが同時に開催される場合、来場者動線が重なり、トラブルになるのではないかと。</p> | <p>【京都府】 競輪場とアリーナの入場者の動線については、投票エリアをしっかりと区分するなど、アリーナ・競輪施設の事業者双方で連携して対応していきたい。</p> |
| <p>アリーナと競輪で事業者が違うが相乗効果は出せるのか。</p> | <p>【京都府】 屋外の競輪施設と屋内のアリーナ施設で連携した取組みにより、敷地全体で地域に開かれた空間として、相乗効果が発揮できると考えており、引き続き模索していきたい。</p> |
| <p>工事作業員は完全週休2日制を実施してはどうか。</p> | <p>【事業者】 作業員の労働時間管理について、事業者・作業員ごとにしっかり法令を遵守し工事を進めていく。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>近隣住民には、メリットだけでなく、デメリットも生じるため、意見をしっかりと聞いてあげてほしい。</p> | <p>【京都府】 近隣住民の皆様からのお声に関しては、説明会の他、より丁寧にご意見をお伺いするため、現地事務所を設け、懇談やお問い合わせをいただいているところであり、今後もご意見等あれば、現地事務所へ問い合わせいただきたい。</p> |
| <p>アリーナを建設するのであれば、固定資産税相当額を向日市に対して支払うなど、財政面等で向日市民に還元されるようにしてほしい。</p> | <p>【京都府】 向日市への財政面での還元について、今回の整備は、行政と民間事業者の連携による事業になるため、民間所有分の固定資産税について、課税可否は向日市の判断となると考えている。</p> |
| <p>アリーナのことは前から噂では聞いているが、計画が決まってから住民に知らせる進め方はどうなのか。</p> | <p>【京都府】 住民説明の進め方については、事業化前の構想段階から節目を捉えて説明会を開催するとともに、現地事務所を設置するなどの対応してきたところ。今後とも、ご指摘を真摯に受けとめ取り組んでまいります。</p> |
| <p>工事車両はアリーナの他に競輪場の工事もあり混乱するのではないかと。このような状況でスケジュールありきで3月の着工は改めてもらいたい。</p> | <p>【京都府】 工事車両については、アリーナと競輪施設は建設工事の期間がズレており、競輪施設は事業者が決まったばかりの段階。設計の進捗に応じて、工事の内容や工事車両を調整しながら進めていきたい。</p> |
| <p>本日はアリーナの建設の説明ということだが、アリーナと競輪施設の整備は別か。そうであれば、競輪施設の整備についての説明がほとんどなかったという理解で合っているか。</p> | <p>【京都府】 競輪施設については、昨年11月に基本契約を締結したところであり、今後各事業者と個別契約予定であり、本日は計画案の説明をさせていただいた。 アリーナは昨年契約し、設計も進捗してきたので詳しく説明したが、競輪施設はこれから設計に入るため、今後、必要に応じて説明させていただきます。</p> |
| <p>北口ゲートの前面道路に誘導員を配置する計画になっているが、交通誘導警備業務検定の所有者でないと難しいのではないかと。</p> | <p>【事業者】 北ゲート・東ゲートに配置する誘導員については、これまでの経歴や能力を十分吟味した上で採用し、能力に応じて適宜配置する。</p> |
| <p>工事車両は周辺で待機させないという説明だったが、どこで待機させるのか。</p> | <p>【事業者】 無線や携帯電話で連絡を取り合い、周辺道路で待機させないように調整し、道路渋滞を起こさないように計画していく。 また、随時パトロールを行い、違法駐車がないように対応していく。</p> |
| <p>周囲は風致地区になっているが、アリーナが建つことで景観が守られるか心配している。</p> | <p>【京都府】 風致地区に隣接するエリアでの建設については、建築基準法上の建物の規模等の制約や、近隣商業地域、向日町競輪場地区計画、娯楽レクリエーション地区等の制限を守りながら、向日市とも協議を重ね、今回の計画をしているということをご理解をいただきたい。</p> |
| <p>アリーナ施設と近隣住宅との関係がイメージできるように現地事務所に立体模型を置いてほしい。</p> | <p>【京都府】 ご要望として承る。</p> |
| <p>住宅の目の前に30mのアリーナができれば、16m離れているとしてもすごい壁になるが、どう考えているか。</p> | <p>【京都府】 向日町競輪場敷地は向日市の都市計画において、近隣商業地域、娯楽レクリエーション地区に指定されており、活気を生むエリアとして期待されていた一方、敷地南側には飲食店が立ち並び、トタンの上から音や光、においなどが抜けるなど、良好な環境とは言いがたい部分もあった。 今回、アリーナを南側、競輪場を北側に配置し、南側に音などが抜けるのを建物で遮り、北側に伸びる建物の陰をできる限り敷地中に収めていくこととしている。 向日市の要望も踏まえ、敷地をセットバックし、道路拡幅や遊歩道を整備することで、最も住宅とアリーナが近い場所でも、16m離隔を確保し、遊歩道や植栽など、綺麗に整備する計画となっている。 住宅からの景色について、これまでトタンで囲われていた閉鎖的な空間からオープンな空間にし、近隣の皆様には広場などを普段使いして憩っていただけるように整備を進めていきたいので、ご理解・ご協力をお願いしたい。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>事業契約書において、大林組が工事前に近隣住民に対し、工事計画の説明を行い、了解を得るよう努める他、自らの責任及び費用で騒音・振動など、近隣の生活環境に与える影響を勘案して対策を講じているが、どのように実施されるのか。</p> | <p>【京都府】 近隣住民の皆様に対しては、説明会の他、現地事務所にて、懇談や意見交換をさせていただいている。 また、近隣住民からいただいた要望に対しては、騒音・振動計の設置や仮囲いのアクリル化なども行っており、今後も必要な対策を検討していきたい。</p> <p>【事業者】 事業契約書に記載されている内容については、適切に履行しながら工事を進めていきたい。 今回の説明会で細かい部分も含めてご説明しているが、後日、お気づきの点があれば現地事務所へご連絡いただきたい。 工事中はご迷惑をお掛けすることは重々承知しているが、不自由なことがあれば誠心誠意対応していくので、ご理解いただきたい。</p> |
| <p>最近バスの運転手不足が問題になっているが、説明資料で出てきた公共交通機関の利用の中に阪急バスも含まれているか。 シャトルバスの運行計画はどうなっているか。</p> | <p>【京都府】 現在競輪場が運用している無料のシャトルバスをどうしていくかは今後の検討となり、公共交通機関について、現時点で厳密に阪急バスを想定しているものではない。</p> |
| <p>シャトルバスは東向日駅や向日町駅は駅前の構造上難しいので洛西口や桂川駅が考えられるが、そちらへのルートは想定しているか。</p> | <p>【京都府】 今後のシャトルバスのルートについては、検討しているところであり、ご質問をいただいたルートも含めて幅広に検討していきたい。</p> |
| <p>近隣のアリーナには駐車場があるが、今回はオペレーションも考えた上で駐車場無しという決定をしたのか。</p> | <p>【事業者】 駐車場のあるアリーナもあるが、駐車場を設けていないアリーナではホームページや興行主からの周知徹底で対応しており、他の事例も参考にしながら交通渋滞が起らないように運営していきたい。</p> |
| <p>競輪場の概要では、1年365日の活用を前提とした施設契約という記載があるが、子育てという文言やパス図には家族連れで遊びに来ている。 子育てにも悪影響があるので、子どもとギャンブルは線を引いてもらいたい。 実際、競輪場は公営ギャンブルであり、できれば競輪場は止めてほしい。</p> | <p>【京都府】 この場所で競輪を開催するのは年間60日程度であるが、他の競輪場のレースを発売する場外発売は年間通じて実施している。 競輪場については、公園としての機能を備えており、これまでも子ども連れのご家族に楽しんでいただいております。再整備後は屋内競技と自転車競技との相乗効果を発揮させ、他の競輪場の例も参考にしながら、より開かれた場にしていきたいと考えている。その上で、車券販売をする場所は線引きしていく。</p> |
| <p>契約が終了する令和30年度で競輪事業を廃止するのか。</p> | <p>【京都府】 令和30年度は今回の運営事業者との包括委託の契約期間が終了するだけで府営競輪事業の廃止を決めているものではない。</p> |
| <p>市民の憩いの場はあるのか。</p> | <p>【京都府】 ボール遊びのできる多目的広場や、遊具広場・イベント広場などを設けており、向日市祭りや地域のイベントに活用いただければと考えている。また、ウォーキング・ジョギングをしていただける空間も作っていきたくと考えており、地域の皆様に憩っていただければと考えている。</p> |
| <p>防災施設の内容・計画を具体的に示してほしい。</p> | <p>【事業者】 アリーナについては、指定避難所として相応な耐久強度を持った施設を計画しており、防災備蓄倉庫などの配置も予定している。メイン・サブアリーナの避難所としての活用を想定しており、インフラが一時ストップした場合も、非常用発電設備や緊急排水槽を設置するなどにより、災害時でも施設が稼働する機能を有している。</p> <p>【京都府】 地震に強い構造であることはもちろんのこと、高台に位置しており、水害時にも避難いただけるものと考えている。</p> |
| <p>アリーナ整備費は、348億5,200万円と高額であり、将来の府民負担になることを府民にもっと伝えるべきである。</p> | <p>【京都府】 アリーナ整備費については、物価上昇の影響を受けながらも、事業者から、その影響を低減し、建築単価・整備コストを下げることでできるような提案をいただき、公共事業として整備した場合と比べ、23.5億円のコスト削減を図ることができたもの。 また、運営についても、通常の公共施設であれば、指定管理料が相当額発生するものの、稼働率の向上に取り組んでいただくことで、当初10年間、府の負担が生じない提案をいただいたところ。 引き続き、府民負担の低減に取り組んでいきたいと考えている。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>向日市は長年競輪場があることで交通渋滞、ごみ問題、治安悪化等の競輪公害があり、アリーナが整備されると同じようなことが起こるのではないかと住民の懸念があるが、京都府は長年向日市民に迷惑をかけてきた自覚があるか。</p> | <p>【京都府】 競輪に伴う渋滞、ごみ、治安の問題があったが、地元の皆様のご理解とご協力があり、75年も運営できたこと、改めてお礼を申し上げる。競輪場があることで迷惑をおかけしてきた部分もあるかと思うが、競輪場の収益の一部を学校や公民館の改修等、できる限り向日市に還元してきたところ。 今回、アリーナで一流のスポーツやコンサートをすることで、子どもたちにとって夢や憧れの機会になるようなコンテンツを提供し、地域の皆様にご迷惑をおかけしないように、工夫しながら検討していきたい。</p> |
| <p>ハード整備されていない地域なので、ソフト対策はかなり難題であり、集客が伸びない恐れもある。 管理・運営を成功させるためには京都府と向日市が連携して都市計画を考えることが必要である。</p> | <p>【京都府】 京都府と向日市との連携強化については、貴重なご提案を頂戴したので検討していきたい。</p> |
| <p>アリーナができることで多くの人が向日市にきて活気が生まれると認識しているので、今後も説明会をしてもらいたい。</p> | <p>【京都府】 皆様への説明については、説明会の形式に限らず、あらゆる機会を捉えて対応していきたい。</p> |
| <p>近隣の方は特に工事の影響を受けるので、近隣住民向けの説明会をしてほしい。</p> | <p>【京都府】 近隣の方への説明については、ご希望であれば懇談の機会を設けるので、現地事務所にお声掛けをいただきたい。</p> |
| <p>工事車両は西京区を通るので、西京区の学区単位での説明会実施を要望する。</p> | <p>【京都府】 説明会については、建設場所である競輪場に近い場所で、多くの方が参加できるようにするため、この場所を選ばせていただいた。 当然、京都府の事業なので、向日市民の方だけでなく、京都市や京都府内にお住まいの方を広く対象にしており、ホームページへの掲載や報道機関への記者発表を通して周知徹底をしたもの。 また、西京区役所や町内会のご協力もいただき、西京区民の方からは前回の説明会の3倍以上の申込をいただいたところ。</p> |
| <p>本日の説明資料の立面図に幅が記載されていない。</p> | <p>【事業者】 立面図については、サブアリーナとメインアリーナで角度があり、この図面はメインアリーナに平行な面で切ったものになっている。 長さは記載できていないので、後日、京都府と連携して数字をお示しする。</p> <p>【京都府】 アリーナの幅（長さ）については、後日、ホームページでお示しする。</p> |

当日アンケート（自由記述）の概要

別紙②

主なご意見

様々な課題があるかと思いますが、それ以上に期待が大きいです。素晴らしいまちづくりを実現してほしい。アリーナ整備と競輪再整備を起爆要素として田舎町から近郊都市への活性化が見られると考える。最善な形にはならないと思うので、できることは最大限やって、本日の案で進めてほしい。

向日市の狭い土地にアリーナを建設することで、メリット、デメリット等あると思うが、府と向日市が連携して周辺道路整備が進むことについては、国の予算も付いており事業進捗が図られており賛成している。総合的には賛成なので遅滞なく進めてほしい。

災害時に競輪場・アリーナを大規模防災拠点として具体的に整備・説明することで、市民の理解と協力を高められると思う。反対意見等が多いが、向日市の発展につなげてほしい。良い施設整備にして向日市を活性化し、他の市町から羨ましく思われるプロジェクトにしてほしい。

説明資料については、具体的なイラストや図が増えて以前よりもイメージがしやすく、交通や車両の動線なども対策の検討が進んでいることがよくうかがえた。しかしながら、資料が増えたにもかかわらず、市民としての不満は依然多いと感じる。説明会は回を重ねるごとに情報が詳細化していると感じるが、質疑で一人の持ち時間が長く多様な意見を聞けない点に改善を求める。資料は分かりやすく出来が良いため評価できるが、質疑応答では①持論を長く述べる人②複数質問を重ねる人が原因で長時間化しており、事前に質問内容を紙に書いて司会が読む方式にするなど時間管理の改善を求める。

子どもが工事車両を起因とする事故に巻き込まれないか非常に不安で心配なので、搬入時間は、せめて通学時間の前後30分ずらすなど、小学生の通学時間は工事車両を通行させないでほしい。また、松本のスーパー付近は中高生の通学路でもあり、登下校と重なるため、安全確保と交通渋滞対策を最優先で検討してほしい。

いわゆる”プロ市民”達の感情的な質疑には辟易したが、それを差し引いても依然として伏見向日線前田地下道西側のクランク部分の大型車両通行に係る安全性には納得できない。さらなる改良や提案を求める。

完成を楽しみにしており、向日市の地域活性化にも期待しているが、アリーナ完成後には想定外の課題が発生する可能性が高いと感じているため、責任の所在が明確な相談窓口を設置するなど、苦情対応を含めた万全の対応体制を確立してほしい。安心して暮らせるのが現時点では心配。説明会の内容は不十分であり、問題発生時の具体的な対策を事前に示すべき。

工事中の不便は理解した上で、完成を期待し応援している。工事期間中の生活への影響については協力したい。工事中の大型車両通行は仕方ない。整備後、子どもたちの未来に残せる施設になることを期待している。

アリーナが無ければ向日市は衰退してしまうので新アリーナ開業を楽しみにしている。

「競輪場のまち」から「京都アリーナのまち」へ変わること期待しています。色々反対意見もあるが、頑張って事業を進めてほしい。府民が自慢できるような施設にしてください。

地域活性のために、京都府として建設してもらえることを大変有難く思っている。アリーナの建設をきっかけに、いきいきとした向日市になってほしい。なかなか住民説明大変ですが頑張ってください。アリーナ整備と競輪場再整備で乙訓地域が活性化することで、若い世代が将来にわたって永住されることを期待している。

地域活性化に期待している。車利用には賛否があるが、現状維持に留まらず、将来の街づくりの為の良い機会だと思う。大原野口の臨時駐車場については継続的に活用してほしい。また、来場者用ガレージとして小畑川周辺の活用を検討してほしい。

退場分散は守らない人が多く、ゴミや騒音の問題が出るのでは。アリーナ内に食堂が無い場合、来場者がコンビニ等を利用しゴミ問題が発生する可能性が高いため、適切なゴミ箱設置など環境対策が必要。来場者は向日市でお金を落とさず、ゴミを増やすと考えられ、ゴミや汚物の処理に市税が使われるのではないかと心配。ゴミ処理は税金ではなく事業者が対応する取り決めしてほしい。アリーナ建設によって市民に利益があるようには感じられず、来訪者が増えて誰が得をするのか疑問。安全・安心な暮らしを守りたい。

他のアリーナのコンサートにもよく行くことがあるが、分散退場により周辺混雑はしていないし、見たこともないので大丈夫では。整備に期待している。

| |
|--|
| <p>周辺道路整備や西側住宅前の遊歩道・緑地帯確保の説明があっても、目の前に高さ30.5mの建物が建つ以上、圧迫感の軽減は不可能で、本来は建物の高さに相当する距離が必要であり、併設という無理な計画の強行には強く反対で、計画の全面見直しを求める。提示されているイメージ図は実際より広々と描かれており、周辺のゆとりはもっと狭いはずでは。</p> |
| <p>府が車道動線を検討しても、ナビは渋滞発生状況も考慮して最短経路で誘導するため、狭い農道や住宅地に車両が侵入するリスクがある。住民が不利益を受ける構造を前提に、トラブル防止の対策を検討して、実効性のある進入抑制策と誘導策をセットで示すとともに、周辺住民の安全確保を徹底してほしい。</p> |
| <p>何かを始めるには、いろんな問題が出て来たりするのは仕方ないことだと思う。マイナスの事だけでなく整備されたところで子ども達が遊んだり、コンサートを楽しんだり、プロバスケットボールの試合を見れたりすることを楽しみにしている。本日の説明ありがとうございます。私はよくわかりました。</p> |
| <p>初めて説明会に出席したが、真摯な回答が少なく残念。説明するだけで意見を取り上げないように感じた。一方的な説明ではなく、住民と双方で議論すべき。説明会などを通じて寄せられた疑問や懸念に対し、工事着工直前になっても「努力する」といった抽象的回答しか得られず不満を感じる。核心を突く質問に対して回答が微妙にずれており、本当に知りたい点に直接答えていない印象。質疑応答が答えになっていない。</p> |
| <p>事業が建設前提で進み、歩道や通学時間帯の運搬車両対策などの具体策が示されず、説明会や質疑を行っても反映される気配がなく、形式的に「聞いた・説明した」に留まっている点を残念に感じている。近隣住民として、アリーナに関する重要情報がこれまで提示されなかった点に強い不満があり、今回の説明会でも住民の声を聞く時間が十分に確保されていないと感じる。形式的に「説明したから進める」という姿勢が見受けられ、誠意ある対応を欠いていて残念。</p> |
| <p>アリーナ建設を前提に無理を押し通す姿勢では向日市や近隣住民が受けられるメリットが分かりにくいいため、福祉的観点から住民に還元される施策や利点を提示するなど、何をどのように検討し実施するのかを市民に明確に示す必要があると考える。</p> |
| <p>前回説明会での住民意見に対して返答できていない。資料に記載された「皆様の意見をお聞きして」の具体的な反映点を示してほしい。今回の質問への回答時期を明確に示してほしい。</p> |
| <p>説明会での意見反映が分かりにくい点は課題だが、複数回開催は評価でき、今後は向日市道路事業でも同様に丁寧な説明機会を充実してほしい。</p> |
| <p>交通面などで多大な影響があるのに西京区への説明が全くなかったことに納得できない。近隣の方々と合意は必要。質問可能な人数が少なすぎるため質疑応答は休憩を含めて3～4時間の設定にしてもらわないと、何回挙手しても当たらない。黙っていると了承したことになってしまうのではと恐ろしくなる。近隣住民への再度の早期説明会開催を求める。</p> |
| <p>森本町はJR拡張で8軒が移転し、現在の向日市の基盤ができた。地元住民の貢献は市民の義務でもある。</p> |
| <p>大規模開発には不便はつきものであり、期待しかないが、整備着手遅すぎる。あと10年早ければよかったと思う。</p> |
| <p>小規模な向日市の住宅密集地でのアリーナ建設は必要性に乏しく、工事中の迷惑や利用客の入退場に伴う近隣負担と交通問題を考えれば無理があり、西国街道のような道幅が狭く高齢者も多い動線は危険だと感じる。住民が軽く扱われていると感じる上、利益優先や府の体面を重視しているように見えて納得できない。府立植物園の再開発中止を受けた代替案として向日市にアリーナ計画が押し寄せたように感じて強い不満を持っている。京都市で反対された流れて向日市が整備地に選ばれた理由が不透明で、競輪場整備の一環とされつつ市民の多くが競輪場そのものに反対している状況からも説明が不足していると感じる。</p> |
| <p>交通負担や公費投入の点から、現在の向日市の場所にアリーナを建設すること自体が不適切。企業側が本当に施設を建てたいのであれば別の適地を探すべき。Bリーグのホームアリーナ問題を理由に向日市を選ぶのは筋違いであり、代替地は西京極総合運動公園の再整備が妥当と考える。</p> |
| <p>アリーナ工事など頑張してほしいが、交通対策は事後対応では不十分であり、先回りした取組が必要。宇治市小倉町のカラー歩道化などを参考にし、駐車場乱立などを防ぐ向日市の主体的な対策が求められる。</p> |
| <p>新施設の完成を楽しみにしているが、人の移動増加は避けられないため、事故防止と近隣生活への影響を最小限に抑える整備・運営を求める。</p> |

| |
|--|
| <p>素晴らしい施設が出来ると期待している。様々な課題や意見はあるが、孫も期待しているので、ぜひ頑張ってほしい。</p> |
| <p>計画いただいている通り着々と進めてほしい。楽しみにしている市民さんも多いと思っています。</p> |
| <p>丁寧な説明ありがとうございました。子どもたちが楽しめる場所として大変楽しみにしています。アツと驚く施設を期待しております。安全第一、絶対無事故で宜しくをお願いします。</p> |
| <p>丁寧な説明に感謝。アリーナ建設は地元負担がかかるので、興行時には地元市民優先のチケット販売枠をイベント主催者と交渉してほしい。地元アリーナとして、市民優先のチケット販売があると嬉しい。市民向けに特典があるチケット販売や、多様な催しを誘致して市を繁栄させてほしい。</p> |
| <p>競輪やアリーナだけでなく、向日市まつりなどの地域の祭典やイベントにも使えるユニバーサルデザインにすることで子どもから高齢者まで誰もが入れて憩える施設整備にするとともに、防災施設などの多目的な機能を有する施設としても期待している。防災設備の充実をメリットとして重視してほしい。</p> |
| <p>アリーナ整備と競輪場の再整備を契機に、道路拡幅など周辺環境改善の進展を大いに期待している。頑張してほしい。</p> |
| <p>ハンナリーズのフラッグの設置やアーティストの音楽を流すなど、まち全体で盛り上げてほしい</p> |
| <p>都市計画道路を大原野口まで早期接続しJR桂川駅に新型路面電車（LRT）を導入すれば大量輸送と地域活性化が期待でき、ハンナリーズ装飾の路面電車ならファンの利用も見込めると考える。</p> |
| <p>アリーナの柿落しイベントはEXPO2025等で実績のあるアーティストのライブが望ましく、公募するとよい。</p> |
| <p>アリーナの柿落しイベント等について幅広く意見募集があれば参加したい。</p> |
| <p>アリーナのデザインが大変魅力的に感じられ、整備イメージが見えてきたため、順調にオープンまで進めていただき、競輪場周辺にも広く波及効果が生まれることに期待している。</p> |
| <p>施設整備コンセプトの「かさねわ」に親近感を感じた。アリーナを楽しみにしている。良好な環境づくりと活気あるまちづくりを目指し、向日市におけるアリーナ整備の実現を期待している。</p> |
| <p>アリーナの施設コンセプトに期待が高まりワクワクしている。今日の説明会で全体像は理解できたものの、工事中の混雑や道路・歩道の拡幅が難しい箇所があることに不安を感じており、交通面が気になるため十分な検討が必要。</p> |
| <p>年間を通じてLED照明でライトアップし、特に記念日等は重点的に実施してほしい。</p> |
| <p>多様な意見を反映する努力をして、丁寧な説明のもとで工事を着実に進めてほしい。15回も説明会を開催しているため、速やかに工事を進めて開業日に間に合わせてほしい。</p> |
| <p>向日町停車場線の狭さと交通量増大による安全・生活環境悪化を踏まえ、道路拡幅を最優先に自転車動線整理や交通規制を実施し、アリーナ事業を前提とした新都市計画を西脇知事から安田市長に早急要請して策定すべき。次回以降は「向日市都市計画担当部署」や京都府警（府警本部）の同席も必要。</p> |
| <p>セットバックにより家を崩すと建坪が不足するため、近隣商業地域への用途変更を求める。</p> |
| <p>阪急西向日駅西口周辺は第一種低層住居専用地域にあたり、飲食店は増やせないはずなので、飲食店が開業出来るように特例措置を講じたり、宿泊施設を誘致するなどしてリピーターを増やすことも検討すべき。</p> |

| |
|---|
| 向日市地区計画を変更したが、南西市道拡幅や緑地計画は地区計画と整理しているのか。 |
| 午前8時前は子どもたちの登校時間であり、保育所の送迎も重なるため、この時間に道路事情の悪い当地で大型車両が走行するのは危険であり、通行回避を強く求める。 |
| 工事車両のルートは問題ないのか。工事中は右京の里地域に工事車両を通行させないでほしい。R9～R10にアリーナと競輪施設工事が重なり、工事車両増加への対応が必要になるのではないかと。 |
| 工事中・完成後に道路整備の不備が原因で問題が生じた場合、府の姿勢は故意に近いものとして重大な責任が問われるべき。 |
| 伏見向日線は住民の主要道路で子どもの利用も多いことから、アリーナ建設に伴う拡幅や信号増設の整備検討が不十分だと感じた。現場を確認した上で次回の説明会で丁寧に説明してほしい。 |
| 競輪場、アリーナの夜間の出入り、治安悪化させない対策を求める。犯罪増加が心配なので、治安対策として交番を設置してほしい。 |
| 工事車両が生活道路と一緒にすることによる渋滞が心配。付近の交差点にはガードマンを配置するなど、工事中の安全確保と、より良いまちづくりに配慮してほしい。 |
| アリーナ建設予定地横に住んでおり、西入口のガードマンが怖い。解体の騒音・振動、粉じんに強いストレスを感じており、日中は外出して過ごすようにしている。長期化する工事や車両通行により生活が成り立たず、我慢してこの先3年以上過ごさなければならないと考えると気が滅入ってしまう。 |
| 説明が遅れた昨年の解体工事時は、早朝から強い悪臭が数回発生し、粉塵や砂ぼこりも多く、水撒きが行われているとされるが生活者には耐え難い状況であった。また、騒音も激しく、子どもや高齢者の健康被害を懸念したが、向日市も京都府も十分に対応せず住民軽視と感じた。今後は民家に近い狭小地での事業であることを踏まえ、向日市民の声を丁寧に聞き、利益より住民の命と健康を重視した府政を求める。 |
| 開業後、住民の生活道路が抜け道になるのではと不安があるが、どう対策するのか示してほしい。将来的に向日市全体が抜け道として利用される可能性が高まり、住民に長期的なメリットが無い。住民生活に不便がないようにしてほしい。 |
| 問題発生時には速やかに改善し、「できて良かった」と言える施設運営を望む。 |
| 賑わい創出には期待するが、駅から歩くには狭く危険な道路や学校周辺の安全確保、アリーナと競輪の開催時間重複を含む周辺の交通対策徹底は不可欠。 |
| 南西市道側は住居専用地域であるため「賑わい」は不要。南側の第一種低層住居専用地域に対する騒音の配慮は十分か。30m超のアリーナ建設により、西側住宅で日照や冬季の寒さへの影響が生じないか。 |
| アリーナ、競輪場の建設計画は時期尚早であり、環境が整うまで延期中止すべき。具体的な説明がないままのまちづくりは認められず、工期を遅らせてでも内容を明確に説明すべきである。企業との契約前に市民からの合意も無く、交通問題解決までは工事着工は反対。 |
| まちづくりや経済効果には期待しているが、アリーナと競輪場が別運営であることに不安を感じる。 |
| 向日市民の若い世代をプロジェクトに加えてはどうか。 |
| 市民がメリットを沢山享受できるように進めてほしい。 |
| 整備中もインターネット上で工事進捗状況を継続的にモニタリング・可視化し、可能な限り計画改善に努めてほしい。 |

| |
|--|
| <p>強引に進めていると感じており、市民として今回の進め方に強い不満と憤りを覚えている。十分な説明もないまま理解と了承を求めるのは横暴であり、この状態で2月11日(水)に起工式を行うことに納得できない。交通対策で車を本当に抑えられるのか疑問で、府民の税金をどう還元するのも不透明。一般企業に350億円を丸投げする形にも納得できない。</p> |
| <p>東向日駅付近の向日町停車場線踏切の高架化や車道拡幅によるアリーナ・競輪場と住宅地との緩和や、歩道拡幅による歩行者の安全対策をアリーナ建設と共に進めることが不可欠であり、現状の計画は道路や周辺環境整備が弱すぎる。工事や運営時の課題が山積しているのでシミュレーションをした上で、もっと住民と対話するべき。</p> |
| <p>アリーナの必要性や税金投入には疑問があり、ハンナリーズの民間企業としての性質を踏まえると府の判断に納得しがたく、向日市を収益目的の場所とみなしているのではと不安を感じる。特定の事業者（伊藤忠・大林組）だけが利益を得るような計画にはせず、もっと向日市民のことを考えてほしい。</p> |
| <p>環境アセスメントを実施しなかったことは本事業の重大な問題点であり、向日市民・府民として手続き上の違法性を疑う。時間がないことを理由とするのは論外であり、適切な手続きを踏むべき。</p> |
| <p>近隣住民の十分な了承が得られていないまま計画が進められており、人口密度の高い向日市に巨大施設を建設すること自体に無理がある。初めから建設ありきで強引に着工する姿勢に強い不安と不満を抱いている。</p> |
| <p>市民との共生を掲げながら住民の意見を無視し、経済・政治を優先して進めており、これは共生とは対極で、説明不足のまま計画を押し進めれば住民との不信を深め、双方に不幸を招くと懸念する。</p> |
| <p>向日市は道路が狭く、歩道拡幅にも時間がかかるため、工事の際は事故が起こらないよう十分に配慮してほしい。市民生活とにぎわいの共存は難しい面があるが、住民だけが一方的に我慢する状況にならないことを望んでいる。</p> |
| <p>にぎわい創出を強調されても周辺地域のキャパシティを超える影響への不安は解消されず、急いで事業を進める必要性は見い出せないと考えている。</p> |
| <p>工作業は9時から17時までが一般的。工事時間は準備・片付け作業込みで9時～17時とすべき。</p> |
| <p>工事車両及び工事関係者の車両は指定道路以外は走らないでほしい。住宅地の道路への侵入は認めない。</p> |
| <p>イメージ図はあるものの、近隣住民が最も知りたい住宅側からの目線の図が提示されず意図的に避けられているように感じる。イメージ図は事業者毎に異なるのではなく統一したものにするとともに、想定来場者も描いてほしい。</p> |
| <p>競輪関係者やバスケットチームを前向きに受け入れたい一方、小規模な市には競輪もアリーナも不要と感じ、市民のメリットが見えない点を疑問視している。工事の課題と運営の課題を整理するとともに、京都府が向日市に対して行う対策、支援を市民に示してほしい。</p> |
| <p>工事車両が伏見向日線を通行する際、前田地下道付近にガードマンを配置するなど、円滑で安全な通行を確保してほしい。工事期間中は現場作業員と住民の安全を確保してほしい。</p> |
| <p>大型工事車両の往来を不安に感じているので、工事車両は横断幕等で関係車両であることを示すとともに、市民の安全第一で周辺事情に配慮して運行してほしい。</p> |
| <p>工事期間中にJR向日町駅・タワーマンション・イオン・アリーナ周辺で事故が発生した場合の安全対策が不十分で、負傷者や死亡事故のリスクを強く懸念する。事故が起こればアリーナ事業への批判は避けられないため、その覚悟をもって安全最優先で工事に臨むべき。</p> |
| <p>工事期間中の時間外・休日休工について、周知方法を明確化してほしい。</p> |
| <p>京都アリーナ、JR向日町駅のマンション開発を進めるなど、府や向日市の考えはおかしい。もっと住民のことを考えてほしい。</p> |
| <p>迷惑を受ける住民への個別説明を住民説明会よりも先に行うべき。</p> |

| |
|---|
| <p>アリーナ構想には期待しているが、歩行中心のアクセス方針を示すだけでは車来場の増加は避けられず、イベント時の渋滞や混雑を懸念している。向日市の道路整備は、抜本的には50年前と大きく変わらない状況であり、多くの来場者を受け入れるには不十分。</p> |
| <p>アリーナ自体は楽しみだが、狭い歩道は傘をさした状態だと1人でも歩行困難で安全面に強い不安がある。道幅の狭い区間だけでも無電柱化を進めるなど、歩行者優先で改善に取り組んでほしい。</p> |
| <p>工事期間から完成後まで交通面への不安が大きく、伏見向日線以外の検討や対策が不足している。完成後も徒歩動線が前提なら、狭い歩道や車道の抜本的な整備が必要。歩道が狭い現状で約1万人が来場することは現実的ではないため、歩道を拡幅してほしい。</p> |
| <p>京都アリーナの来場者9,000人規模ではアクセスルートを3ルート確保しても混雑は避けられないため追加検討が必要であり、中垣内以南の御陵山崎線がボトルネックとなる中でアリーナ完成までに拡幅できるか疑問を持っている。御陵山崎線の五辻から競輪場前までの区間は現在でも歩道と車幅が狭く、向陽小学校・幼稚園の通学路であるため、安全面から動線の再検討が必要と考える。</p> |
| <p>狭い道路に起因する事故が発生した場合、アリーナ側が訴えられるケースもあり得るが、その負担が最終的に府民に及ぶのではないかと懸念する。</p> |
| <p>向日市民にとってメリットがなさすぎる。東ゲートの立体交差化を具体的に示してほしい。</p> |
| <p>自転車の安全走行も想定して拡幅してほしい。いまだき歩道橋整備は時代に合っているのか。</p> |
| <p>アリーナと競輪（スポーツ）を核に、阪急東向日周辺整備・立体交差化・JR向日町西側広場・ロータリー整備を一体的に進めてほしい。</p> |
| <p>競輪場北側の歩道について、南側（住宅地側）は整備予定があるようだが、北側も同等規模での整備を求める。資料では北側歩道が確認できず、計画に含まれていないように見えたため、未計画であれば改善を求める。</p> |
| <p>資料24ページの来場者誘導ルート案について、①②ルートは歩道が狭く混雑が予想されるため、物集女街道を③案として追加し分散を図るべき。自宅が①ルート沿道にあるため、ゴミや騒音の悪化も懸念する。また、シャトルバスは①のみでなく、伏見向日線から競輪場前交差点を経由するJR向日町駅往復ルート上での設定も求める。</p> |
| <p>来場者誘導のルート③は道が細く実効性が低いため、子どもの頃の経験から利用が多かったルート②の歩行者天国化が最も有効で、難しければ誘導員の配置など向日市民のための適切な誘導策を求める。ルート②は元々車が少なく、当時は出店もあり3～4千人規模でも対応可能だったと記憶している。</p> |
| <p>道路拡張に関する説明がなく不誠実であり、西脇知事をトップとした府の住民対応の姿勢に問題を感じる。アクセスルートの分散化で歩行者対応できるのか特に不安があるため、歩道拡張整備について不透明な発言に留めず、実現可能なシミュレーションを用いて示してほしい。JR・阪急両駅からのアクセスについて、より幅の広い道路整備など、利便性と安全性を高めた動線づくりを求める。</p> |
| <p>イベント開催時にシャトルバスを出してほしい。洛西口から福西本通を通る直通バスを運行してはどうか。また、シャトルバスや公共交通機関でどれくらいの輸送能力があるのかが気になる。</p> |
| <p>競輪場やアリーナの整備ではなく、まずは道路整備をしてほしい。駅からの歩道整備を現実問題として真剣にどうするのか検討してほしい。東向日駅からアリーナまでの歩道拡幅は必須であり、アリーナ開催日は東向日駅～アリーナ間の道路を歩行者専用とする運用が望ましい。</p> |
| <p>現場実証が不十分で阪急向日町駅・JR向日町駅からの歩道が極めて狭く公共交通来場の安全性に懸念があり、多人数での歩行検証が必要と考える。現地を実際に歩いて交通事情を理解してほしい。アクセスルートの分散化については実証実験をすれば納得が得られるのでは。</p> |
| <p>郵便局前の交差点が“歩行者専用で全方向を歩行者が渡る方式（スクランブル的）”になっており、変則交差点が渋滞の主因となっている。立体交差化など抜本的な改善を求める。</p> |
| <p>西向日在住としては、今回突然最寄り駅に「西向日ルート」が追加されたことに驚いた。向日町駅～東向日駅間の道路は交通量が多く幅も狭く、歩道も途中で途切れており、両側に住宅が密集しているため拡幅は困難と考える。</p> |

| |
|---|
| <p>アリーナ・競輪場から阪急方面への人流や車の流れが不透明で、西京区大原野側へ流入する懸念がある状況であるため、京都市が公表している沓掛上羽線の都市計画道路計画の廃止を取り止めるよう、府から京都市へ申し入れてほしい。</p> |
| <p>向日町停車場線も西向日からの御陵山崎線も車が多い上に歩道も狭く、自転車も多い場所であり歩行者にとって非常に危険。絶対先に拡幅すべきであり、まだ着工すべきでない。</p> |
| <p>東向日駅の踏切では歩行者と自転車が待ち時間に集中し大混雑すると考えられる。誠実な回答を求める。</p> |
| <p>アリーナ北側からの退場も検討すること。</p> |
| <p>1万人規模の時差退場は実際には不可能であり、アリーナ建設に絶対反対。</p> |
| <p>向日町停車場線・物集女街道は歩道が狭く、西国街道は歩車分離されておらず危険で、徒歩来場を前提にするなら安全対策の明示が必要。</p> |
| <p>明石歩道橋事故や梨泰院事故の教訓から、多少の拡幅程度では周辺道路・歩道の狭さは改善されず安全確保が困難であると懸念している。</p> |
| <p>物集女街道について、競輪場より南側の区間も道路・歩道の改良を行ってほしい。</p> |
| <p>向日町停車場線の歩道整備と併せて、伏見向日線のクランク部には信号設置が必要。</p> |
| <p>伏見向日線の歩道が狭いところが心配。夕方はいつも渋滞している。</p> |
| <p>JR向日町、阪急東向日、西向日駅から徒歩以外では行けないようにしてほしい。</p> |
| <p>周辺に飲食店がないので常設のレストラン等を設置すれば分散化につながるのでは。</p> |
| <p>道路整備は順次進めていただき、今回の整備を機に向日市に賑わいを創出してほしい。</p> |
| <p>他県アリーナ等の経験から時差退場でも混雑が深刻で、向日市の細い道路と小さな駅で捌けるのか、住宅街への人流流入も含め不安を感じる。</p> |
| <p>阪急への歩行者の不安の声が多く上がっていたが、JRも含めると分散されるのではないか。</p> |
| <p>周辺道路の渋滞は公共交通への誘導だけでは解消できず、道路拡幅などハード対策を含めた検討が必須。JR向日町線～阪急東向日町駅間については交通渋滞解消のため道路拡幅を求める。道路幅員や歩道整備の課題は、再整備後においても運用を含めた継続的改善が必要であり、街灯整備なども含めて環境改善を将来に渡って進めてほしい。</p> |
| <p>再整備による文化振興や賑わい創出、憩いの空間に期待しているが、交通渋滞や安全面が心配なので現計画以上の対策を求める。</p> |
| <p>アリーナと競輪施設の整備による向日市のネームバリュー向上と観光効果による経済活性化に期待しているが、駅からの道路の狭さや拡幅計画の実現性に不安があるため、道路整備などの課題解消は必須。御陵山崎線（競輪場前～五辻）についても拡幅を求める。</p> |

| |
|--|
| <p>ハード面での道路整備はソフト対策より先に整えるべき。車道、歩道等、周辺道路の拡幅整備の早期実施を優先してほしい。</p> |
| <p>アリーナと憩いの広場の整備自体は楽しみにしている一方、向日市はもともと道幅が狭く、車・歩行者・自転車すべてに厳しい環境であるため、この機会に道路整備の前進を期待する。福祉会館前交差点と大原野口交差点をスムーズに通過し東向日駅へ向かいたいので、両交差点を含む道路整備の改善を強く期待している。</p> |
| <p>来場者の車利用を前提としない計画であるにも関わらず、周辺道路整備について時期・事業内容ともに具体的検討が示されておらず不十分。工事車両についてはルート説明があったものの、アリーナ開業後の一般車両の動線については説明がなく、来場者が車で来る想定がゼロなのかどうかも不明である。工事前の今の交通量でも混雑しているので、施設工事よりも、まずは道路整備を優先させるべき。</p> |
| <p>道路整備に無理がある。アリーナと並行して道路整備・改良を中長期で進めてほしい。</p> |
| <p>イベント時の交通量の想定に不確実な点が多く、マイカー規制の効果も不明なため、実際に渋滞が常態化した場合の具体的な対策を求める。JR桂川駅への送迎や自動車の西への誘導、民間駐車場の活用など対応が不透明。</p> |
| <p>桂川PAのスマートIC設置により国道171号や京都外環状線から競輪場西駐車場へのアクセス向上が期待できるため整備すべき。</p> |
| <p>伏見向日線の混雑懸念には「できない」だけでなく、ガードマン配置による直進・右折処理など具体策を示すべき。東ゲートも具体的に必要性を示さなければ住民理解は得られない。伏見向日町線の渋滞で所要時間が増える場合は、迂回入場経路の再検討が必要と考える。</p> |
| <p>人口密度の高い地域の中心部にアリーナを建設することにより、周辺交通への不満が多くある。将来を見据えた検討が不十分。市民にとってのメリットが見えず、特に交通負担が大きい点を懸念している。</p> |
| <p>事業が具体化し論点が明確になってきた点は評価するが、交通面の不安は依然解消されておらず早急な改善を求める。</p> |
| <p>周辺エリアの拡大に伴い、狭い道路については、拡幅や一方通行にするなどの交通整理を検討してほしい。</p> |
| <p>周辺の市道について、車道を広げると交通量が多くなりスピードも出せる場所になりそうなので、車道を広げず歩道を広くするのがよいのでは。</p> |
| <p>競輪敷地南側の三差路について、市道拡幅後も既存のカーブミラーを再度設置いただきたい。</p> |
| <p>大原野口の拡幅はシャトルバスが通行するためではなかったのか確認したい。シャトルバスの早期運行に向けた合意形成を求める。</p> |
| <p>場外発売を除く競輪場開催時には、例えば離れた場所に無料駐車場を確保してシャトルバスを出すなど、車で来場できるようにしてほしい。</p> |
| <p>公共交通機関への誘導とあるが、どのように車での来場を規制するのか。公共交通機関を誘導しても車で来る人はいるはずなので、スーパー等にガードマンを起用してアリーナを利用する人は駐車不可等の案内を行うなど対策を徹底してほしい。混雑は仕方ないが、交通混乱は避けてほしい。</p> |
| <p>向日町停車場線は将来的に混雑や渋滞がひどくなるので、東向日駅の踏切の高架化は阪急に投資協力を働きかけるなど、住民・商業・行政連携で優先的に推進すべき。</p> |
| <p>アリーナの開設自体は楽しみだが、バスやタクシーの往来増加による東向日駅踏切の混雑悪化が懸念されるため、迂回路確保や阪急高架化、地下道交差点への信号設置などの交通対策の実施を求める。</p> |
| <p>歩行者増加時に右左折車が横断待ちで滞留するため信号処理や右折レーン増設の検討が必要であり、福祉会館前交差点では南行右折が先に赤になる変則切替で右折車が立ち往生するため改善が求められ、大原野口交差点を通らない新ルートはスーパーマツモトへの生活導線のため通行止め回避が必要で、P17の敷地内通り抜けも重要な生活動線として存続が望まれる。</p> |

B工区のセットバック内容を示してほしい。

福西東通の規制と夜間の車両通行の抑制が必要であり、大型車ではなく4トン車両までに規制すべき。

京都外環状線から駐車場までの田畑が多い区間は工事しやすい。

通学路の安全確保にとっても前田地下道西側への信号設置を求める。

住宅地道路の標識未整備による抜け道化と安全面への不安を懸念している。

物集女街道の向日町郵便前から一文橋の約500mが、土日や時間帯によって渋滞する。

公共交通と徒歩だけでは来場者に負担が大きく無理があるため、シャトルバスを大幅に増便するとともに、駐車場を設けない方針としてほしい。

施設計画に駐車場についての記載が見当たらず、違法駐車が発生が非常に心配。来場者の車利用による不法駐車やアイドリング騒音・環境負荷が想定されるため、駐車管理と環境対策を徹底してほしい。具体的には競輪場周辺のコンビニやパチンコ店、スーパーの駐車場に無断駐車が発生する懸念があり、対策が必要ではないか。周辺駐車場増設の予定はあるのか。

競輪場の工期開示と工事車両の安全配慮、動線道路改善の随時開示、最善の工事・運営計画と物集女街道の立体横断の実現を求めたい。

ナカノフドー建設は様々訴訟提起されているが、なぜ事業者として起用しているのか。

競輪場の施設が大きすぎるため、歩いて向かう来場者からは京都のシンボルとなるアリーナが視認しにくいのでは。

競輪施設との動線にも課題があり、市民が自由に使える広場が少ない点も懸念している。

乙訓地区には同様の施設がほとんどないため競輪場バンク内側に陸上競技場を設けて、芝生を張ってサッカーやラグビーもできるようにしてほしい。競輪、コンサート、スポーツ、くつろぎがうまく融和した施設整備に期待している。

屋内施設として利用されていた向日町会館が使えなくなるため、市民が室内運動・会議・サロン活動に使える代替施設の整備を求める。

向日町会館（会議室）を残す話だったはずなので、アリーナではなく競輪場内に会議室を必ず確保してほしい。

アリーナの完成を楽しみにしているので安全第一で工事を進めてほしいが、競輪場は将来的に不要では。

アリーナと競輪場は融合させるのではなく、完全に住み分ける方が市域住民に受け入れられると思う。

ギャンブルの子どもへの悪影響が心配。ギャンブルの場と子育てエリアを分けて欲しい。

競輪に熱中している人の中には極度の興奮状態の人もいるため、子どもの安全対策を十分に検討してほしい。

| |
|---|
| オープンな競輪場の整備が本当に適切なのか疑問を持っている。 |
| 365日競輪博打する人がうろうろするなんてありえない。 |
| 競輪場の入退場が無料になるとの情報の真偽を確認したい。 |
| 楽しみにしています。素晴らしいアリーナと競輪場をつくってください。早く完成するのを心待ちにしています。頑張ってください。 |
| 素晴らしい施設（アリーナ他）を楽しみにしている。向日市の発展に寄与する京都府のご尽力に感謝。完成に期待している。向日市を中心とした乙訓、京都市の発展を願っている。 |
| 来場者の動線管理や周辺道路整備を徹底し、「向日市にアリーナがあって良かった」と思える施設にしてほしい。 |
| 向日市民が日常的に楽しめる施設としてほしい。賑わいと活気があふれるアリーナを楽しみにしている。 |
| 具体的な説明を聞くことができ安心した。西京区での説明会開催、スケートボード場設置、シャトルバス運行時期、ATM設置場所についての具体的な説明を更に聞きたい。 |
| 作るなどと言っても強行されるので、整備するならば、アリーナの中に、亀岡のサンガスタジアム内の「きりのこ」、洛西口の「ガタゴト」、競輪場の「パカラン」の様な小さい子が遊べる場を作ってほしい。 |
| 向日市の唯一の自然緑地である西北丘陵地の竹林景境（竹の径や史跡）との調和を求める。 |
| 自然を感じられ、若者から高齢者まで楽しめる街づくりにしてほしい。市民の憩いの場やウォーキングコース、健康遊具など全世代が利用できる環境を整備してほしい。敷地をフル活用して、向日市民や来訪者が安らぎ・喜びに繋がるような施設にしてほしい。 |
| 治安の悪化を伴わない範囲でバスケ・バレー以外のコンテンツの充実を期待している。 |
| 普段使いできることや、競輪とアリーナの間を通り抜けられることなど、評価している。ドッグランのような施設の設置についても検討してほしい。 |
| 屋内仕様の子どもの遊び場や、コンビニではなく飲食エリアを整備するなど、市民にとっても有益な施設にしてほしい。フードコートやレストランはどれくらいの出店が見込まれるのか。飲食店が少ないためグッズ販売から開場まで約9,000人が滞留できるようカフェ等の飲食・休憩スペースの充実を求める。 |
| 住民が自由に集える場がどのような仕様・大きさなのか想像できない。敷地北東の公園内に子どもの遊び場や花見の場所、トイレが設置されているが、整備後も同様の仕様なのか。 |
| 現状の計画では北山や西京極の方が適地だったのではと感じる。競輪場再整備は理解するが、住民密集地の狭い土地に9,000人収容のアリーナを建設する計画は市民にとって寝耳に水で、当初から無理があると感じている。より適した別の土地での施設検討を行うべきで、誘導策では何も解決しない。 |
| 府民がスポーツ等で親しむ前に、市民がより自由に使える施設であるべき。館内利用が有料であれば気軽に使えず、市民利用のハードルが高いと懸念している。国策「スポーツの成長産業化」に沿ったアリーナ建設は、スポーツを利潤追求の手段に貶めるものであり、市民一人一人のスポーツ権を保障するものとはなり得ないため、地域毎に公園、体育館等を公的施設として建設、運営すべき。 |
| 京都アリーナ自体の必要性に疑問があり、少子高齢化の時代に大型施設へ税金を投じることに納得できない。また、施設の経営面でも赤字が見込まれるのではないかと懸念している。 |

| |
|--|
| <p>アリーナ建築のデザインについては、箱型ではなく、丘上に建つような夢のある意匠への改善を望む。向日市の象徴である竹の要素を外観以外にも取り込んでほしい。</p> |
| <p>建設予定地は傾斜地だが、車いすでも問題なくアクセス可能なのか。</p> |
| <p>建設予定地は西ノ段の隣地400坪にしてほしい。</p> |
| <p>ニデックの遊休地に建設されてはどうか。</p> |
| <p>アリーナ建設・着工の中止・停止を求める。</p> |
| <p>アリーナの完成を楽しみにしており、室内テニス大会・柔道大会・京都アニメーション関連イベントなどの開催を期待する。</p> |
| <p>国際大会等が呼べるようにアリーナの収容能力を最高15,000人で検討してほしい。全国集客が可能なアリーナの整備を期待する。</p> |
| <p>向日町商店街の活性化に繋がるように、イベントが開催されない日は芝生を無料解放してほしい。</p> |
| <p>住宅地立地や住民合意不足、税金全額投入への疑問があり、向日市に限らず周辺市町を含めた説明会の実施を強く求める。</p> |
| <p>不安や疑問が解消されていない現状での3月着工は見直すべきであり、京都市でも説明会を開催してほしい。</p> |
| <p>福西東通りを混雑緩和や工事車両に使用するなら、西京区での説明会開催と東山交差点の具体的な安全対策を求める。洛西ニュータウン在住の市民にも丁寧な説明を求める。</p> |
| <p>工事中もその後も影響が大丈夫ということが本日よく理解できたので、西京区内でも住民説明会を開催してほしい。</p> |
| <p>質疑応答の際に再質問できるように進行してほしい。質疑応答時間をもっと長くしてほしい。</p> |
| <p>不安が多く、再度説明会をしてほしい。説明会の様子からも住民合意が得られていないため継続的な説明会の開催が必要。</p> |
| <p>計画進行が住民の意見を十分に聞かず強行された印象があり不信感を抱いた。</p> |
| <p>交通面については、市でも対策は必要なので、市の担当者も説明会に出席してほしい。アリーナ建設中になっても市長出席の上での説明会を継続開催すべき。</p> |
| <p>府税投入事業であるにも関わらず説明会が事業者主体で進められている点に不満があり、情報の正確な開示と民間・行政の連携、所有区分に応じた固定資産税が向日市に入る対応、さらに市民に近い場所での説明会開催を求める。</p> |
| <p>大林組が伏見向日線を運搬路として使うと説明したが、JR向日町東口の高層マンション工事に伴う国道171号・伏見向日線のダンプ混雑は避けられず、次回説明会での具体的回答を求める。乙訓土木事務所はもっと具体的に道路対応を説明すべき。</p> |
| <p>アリーナの背面に自宅が位置するため、年間を通した日影図（影の影響がどの時期・時間帯にどれだけ及ぶかのシミュレーション）の提示を求める。</p> |

車両や歩行者の動線について検討資料を提案しないと住民の納得が得られない。理解するためにデータを出して説明すべき。

立面図には高さのみで建物の奥行の寸法が示されておらず不十分。

登壇者が男性のみだが、女性目線での意見は反映されているのか。

これまで情報が入って来なかったのが、今回の説明でよくわかった。今後の進め方についての質疑の際、具体的な説明（物集女街道を立体的に横断）があり、納得し、理解が深まった。

QRコードでアンケートを書けるようにしてほしい。

アリーナ・バンクのいずれかで向日市まつりを実施するなど、地域住民が楽しめるイベントを充実させてほしい。また、イベント非開催時は子どもたちが気軽に遊びに行けるよう、市民への駐車場サービスがあるとよい。

令和7年12月4日の本会議での磯野勝議員からの一般質問に対する西脇知事の回答の中で、「御陵山崎線を歩行者が立体的横断できるようにする。商工会、観光協会他6団体から歩行者天国の希望があった。」旨の答弁があったが、他の4団体がどのような団体か示してほしい。

運営については、地元住民から雇用してほしい。

工事の進捗状況やアリーナ・競輪場の収益見込み額、向日市（向日市民）への収益の還元見込み額を示してほしい。

競輪場の収益が府内の設備や施策にどのように活用されているのか、具体的に説明してほしい。

アリーナ、競輪場の収益は向日市にどの程度還元されるのか示してほしい。

京都ハンナリーズの集客力不足による施設価値の低下を懸念している。

古墳群等を面的に保存すべき。

アリーナと競輪場の整備だけでなく、周辺地域の整備も検討すべき。

シャトルバス運行案があるなら、減便が続く地元路線の増便に人員を回すべき。

行政の効率化のため、乙訓2市（向日市、長岡京市）の合併を希望する。